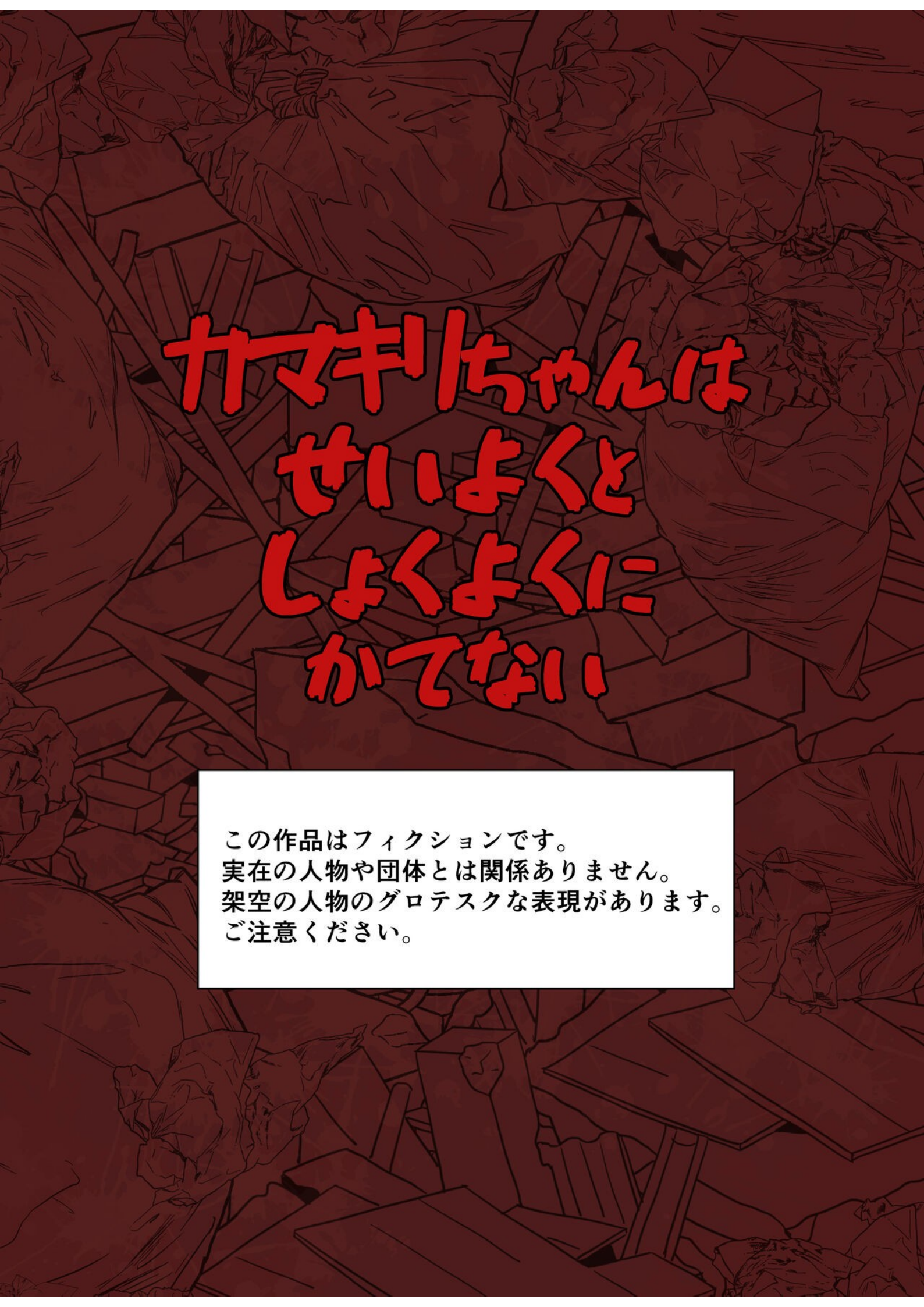


カマキリちゃんは
せいよくと
しょくよくに
かてない

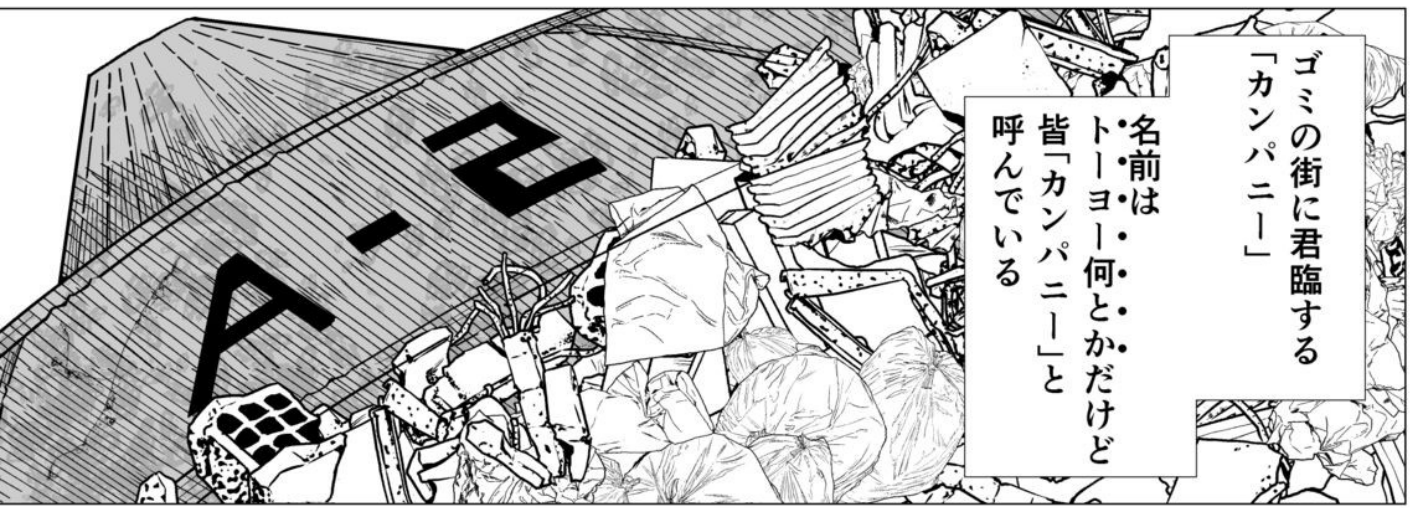
デボリナ
ワークス





カマキリちゃんは せいよくと しょくよくに かてない

この作品はフィクションです。
実在の人物や団体とは関係ありません。
架空の人物のグロテスクな表現があります。
ご注意ください。



ゴミの街に君臨する
「カンパニー」

名前は
ト・ヨ・何とかだけど
皆「カンパニー」と
呼んでいる



俺はその横で
ゴミ拾いを
生業にしている



ガヤ ガヤ ガヤ
カンパニー
拾取所

カンパニーは
価値のあるゴミを
買い取ってくれる
まあ……

ガキの俺には
簡単なことでは
ないけど

邪魔だ
クソガキ

キョウ







助けてやるよ
一緒に来な



ちっ
例え化け物でも
弱ってる
女の子を放ってはおけないな

はぁ

はぁ



キー...



まだ固形物は
食べられないみたいだけど
牛乳が大好きだ

くばあ...

味の牛乳

カマキリは牛乳を飲みます！



家で介抱すると
彼女は驚く程の速さで
回復した

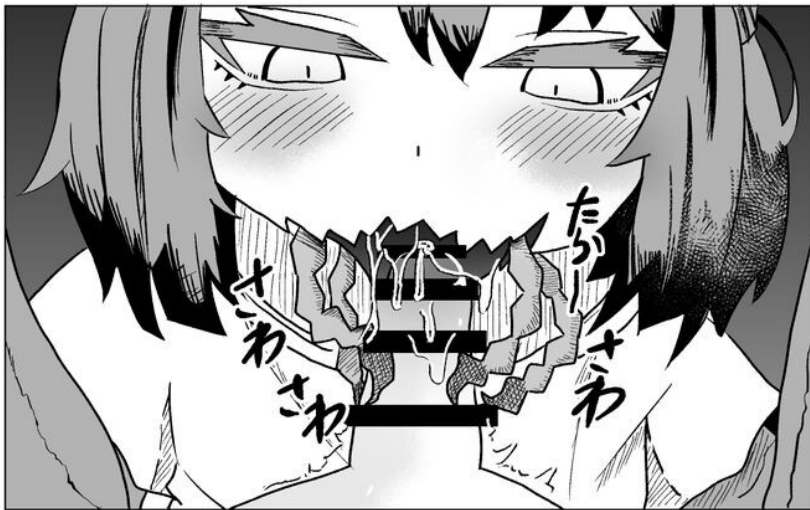


俺はキィを
好きになっていた
のだろう

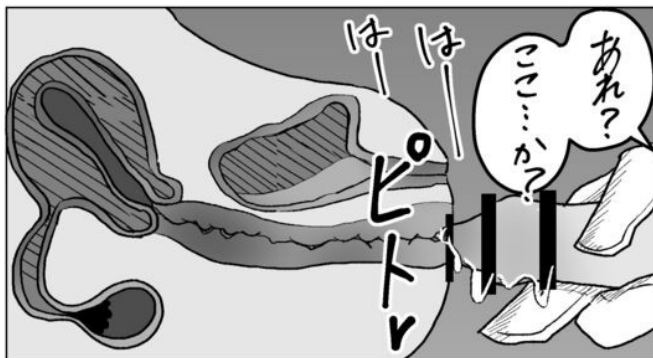
彼女と話したくて
言葉を教え始めた













なっ
何だこの穴…

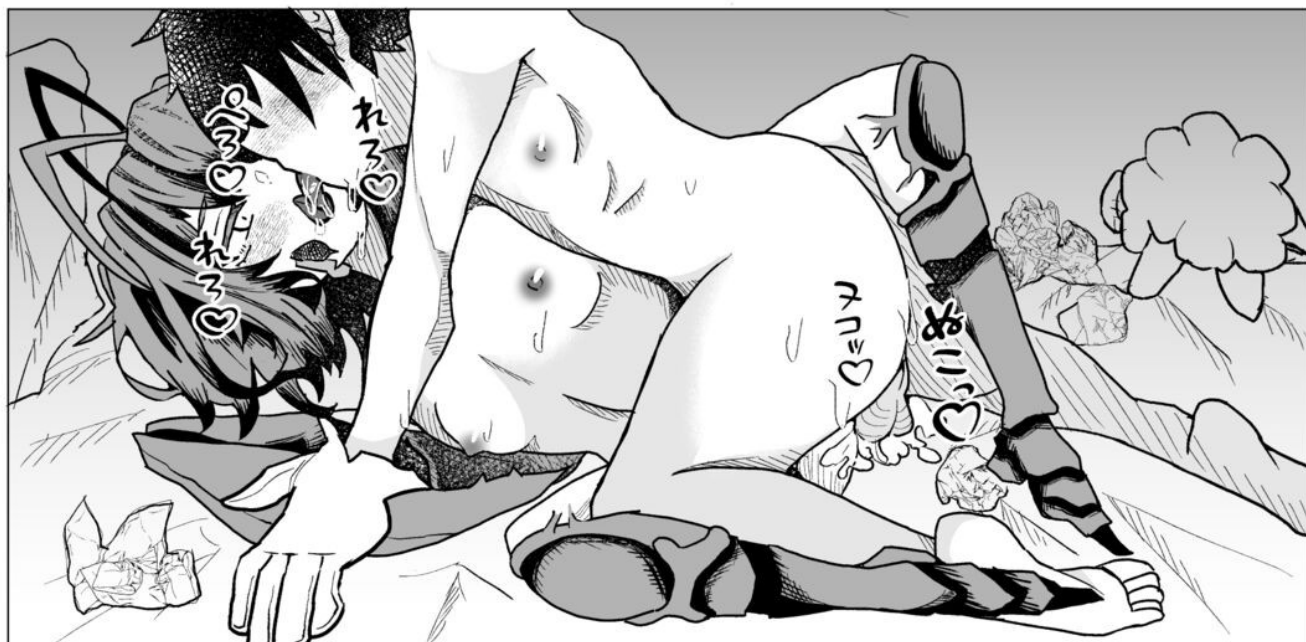
はあッ

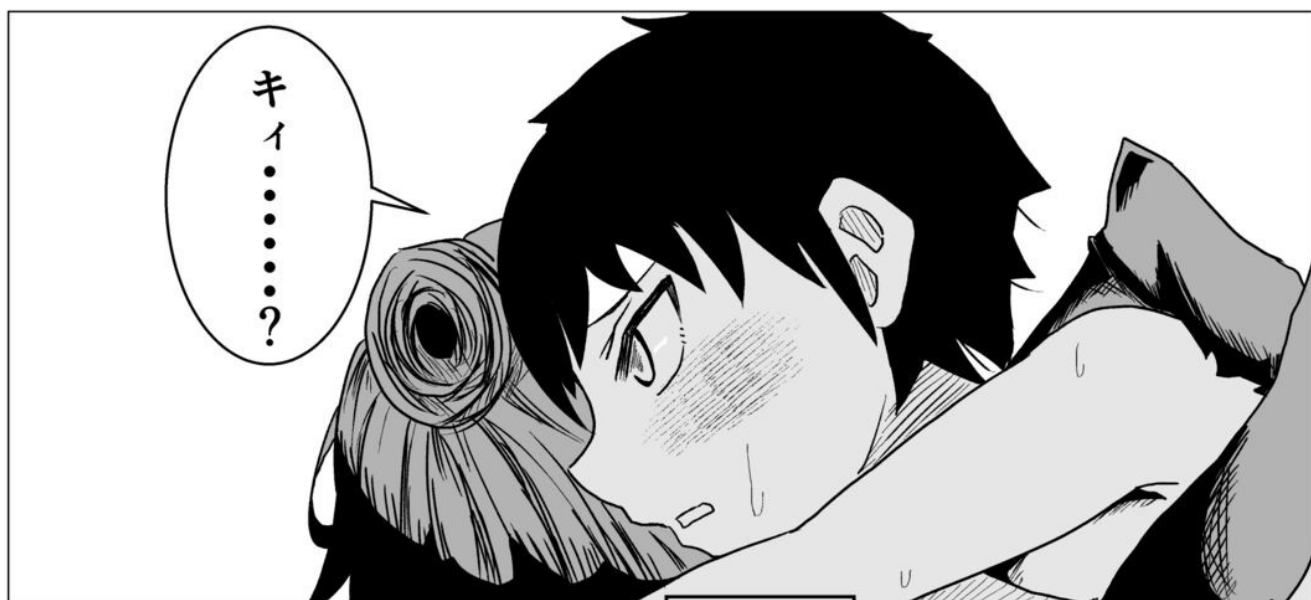
はーッ

気持ち
よすぎるっ！



それから俺は
彼女の「穴」を
貪り続けた







薄れゆく
意識の中で
声が聞こえる

キ……

ああそうか
彼女にとっては
俺も、牛乳も

グア……

キ……

グアイズキ

同じ「好き」
だったんだ

トロオ……